

令和6年度 日向市下水道事業会計決算の概要について

1. 総括

本市公共下水道事業は、昭和49(1974)年の着工、昭和62(1987)年の供用開始以来、衛生的で豊かな市民生活を支えるとともに、河川などの水質保全を図るため、下水道施設の整備とその適正維持に努めてまいりました。

本年度は、財光寺の往還区及び切島山2区の下水道整備を進めるとともに、老朽化した污水管路の更新工事を行いました。

また、供用開始から35年以上経過し、設備の老朽化が進む日向市浄化センター並びに富高、亀崎及び細島ポンプ場について、事業費の平準化とライフサイクルコストの抑制を図るため、「下水道ストックマネジメント計画」に基づき、施設の長寿命化対策工事を行いました。

2. 業務状況

本年度末の処理区域内人口は34,469人で前年度に比べ225人減少、水洗化人口は32,064人で前年度に比べ82人減少しています。また、普及率は59.9%、水洗化率は93.0%となっております。

なお、汚水処理水量は3,784,657 m³で前年度に比べ13,342 m³増加、有収水量は3,513,223 m³で前年度に比べ17,593 m³減少しております。

区 分	令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	比較 (A)－(B)	増減率(%)
1. 行政区域内人口(人)	57,504	58,264	△760	△1.3
2. 処理区域内人口(人)	34,469	34,694	△225	△0.6
3. 普 及 率(%)	59.9	59.5	0.4	0.7
4. 水 洗 化 人 口(人)	32,064	32,146	△82	△0.3
5. 水 洗 化 率(%)	93.0	92.7	0.3	0.3
6. 年間総処理水量(m ³)	3,784,657	3,771,315	13,342	0.4
7. 1日平均処理水量(m ³)	10,369	10,304	65	0.6
8. 年間有収水量(m ³)	3,513,223	3,530,816	△17,593	△0.5

3. 財政状況

(1) 収益的収支について

収益的収支（税抜き）については、事業収益は1,366,749,657円で、うち、下水道使用料は450,705,594円、長期前受金戻入は330,398,582円、一般会計からの負担金等が565,152,000円となっています。

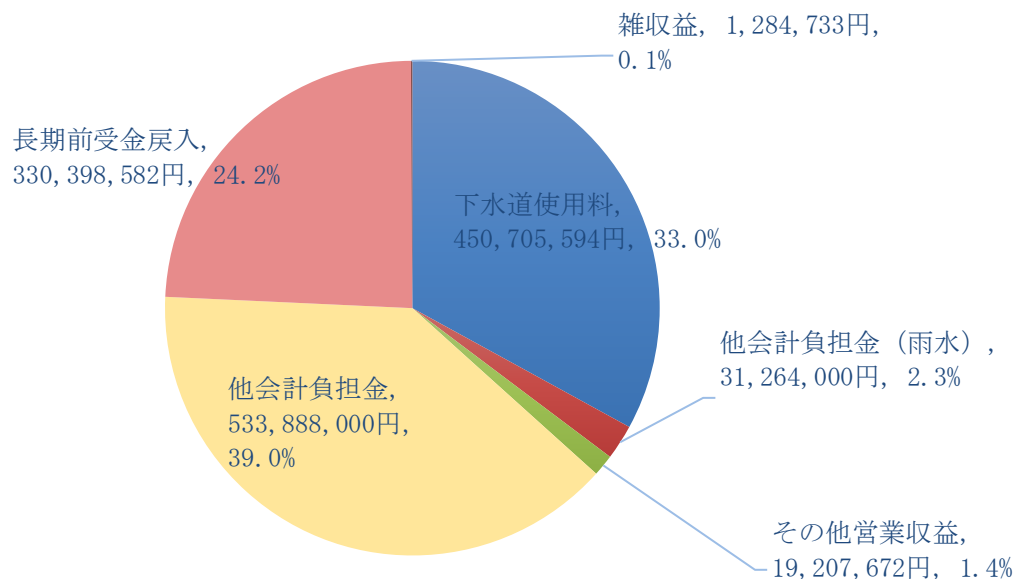
事業費用は、1,131,912,757円で、主な内訳は、減価償却費が731,300,002円、企業債の利息が67,979,716円となっています。

以上の結果、収益的収支差引では、234,836,900円の当年度純利益を計上しました。

(単位：円、%)

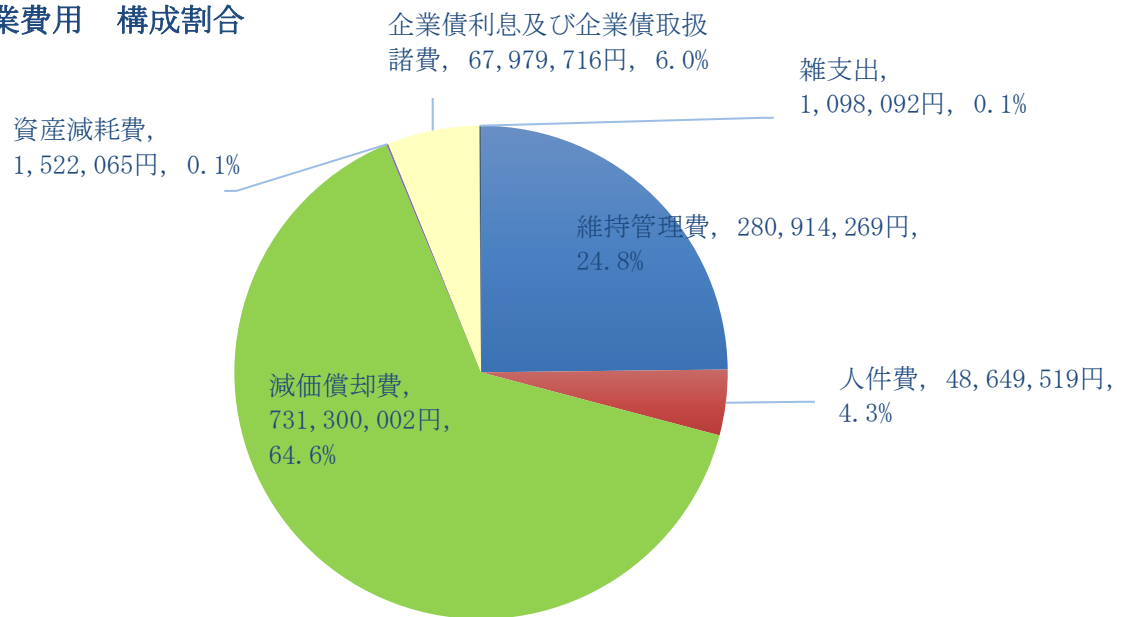
区 分	令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	比較 (A)－(B)	増減率
下水道事業収益	1,366,749,657	1,375,811,861	△9,062,204	△0.7
営業収益	501,177,266	505,475,083	△4,297,817	△0.9
営業外収益	865,572,391	870,366,778	△4,764,387	△0.5
特別利益	0	0	0	—
下水道事業費用	1,131,912,757	1,135,453,716	△3,540,959	△0.3
営業費用	1,062,385,855	1,057,017,176	5,368,679	0.5
営業外費用	69,077,808	78,089,447	△9,011,639	△11.5
特別損失	449,094	347,093	102,001	29.4

下水道事業収益 構成割合



(受取利息及び配当金 1,076 円を含む。)

下水道事業費用 構成割合



(特別損失 449,094 円を含む。)

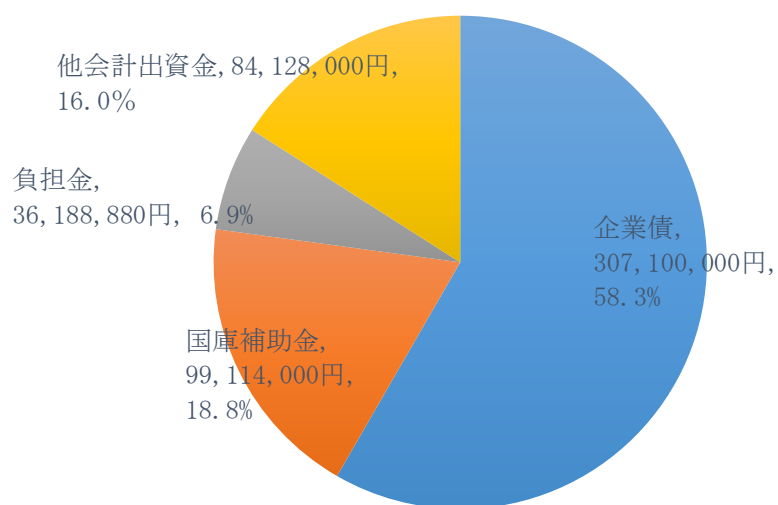
(2) 資本的収支について

資本的収支（税込み）については、収入額 526,530,880 円に対し、支出額 1,147,023,206 円で差し引き収支不足額は、620,492,326 円となり、不足額は、損益勘定留保資金等で補填しております。

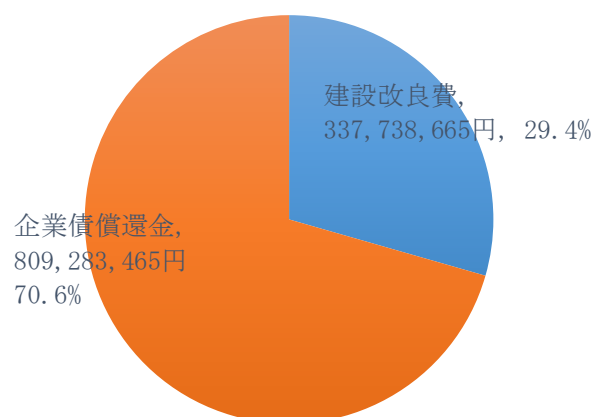
(単位：円、%)

区 分	令和 6 年度 (A)	令和 5 年度 (B)	比 較 (A)－(B)	増減率
資本的収入	526,530,880	630,918,010	△104,387,130	△16.5
企業債	307,100,000	347,700,000	△40,600,000	△11.7
国庫補助金	99,114,000	170,050,000	△70,936,000	△41.7
負担金	36,188,880	30,478,010	5,710,870	18.7
他会計出資金	84,128,000	82,690,000	1,438,000	1.7
その他資本的収入	0	0	0	－
資本的支出	1,147,023,206	1,254,216,736	△107,193,530	△8.5
建設改良費	337,738,665	414,264,358	△76,525,693	△18.5
企業債償還金	809,283,465	839,951,299	△30,667,834	△3.7
投資その他の資産	1,076	1,079	△3	△0.3

資本的収入 構成割合



資本的支出 構成割合



(投資その他の資産 1,076 円を含む。)

4. 企業債の状況

下水道を建設するためには、多額の費用を要するため、市の単独予算ではまかないきれません。そこで、企業債（地方債）を発行することにより、資金を調達し、事業に充当しています。

令和6年度は、307,100,000 円の企業債を発行し、809,283,465 円を償還した結果、返済を終えていない企業債残高（企業債未償還残高）は、6,936,509,204 円となっています。

企業債残高は縮減傾向にありますが、引き続き、企業債の適正な発行と償還を行っていく必要があります。

令和6年度企業債状況表

(単位：円)

区分	前年度末残高	本年度借入高	本年度償還高	本年度末残高
下水道事業	7,438,692,669	307,100,000	809,283,465	6,936,509,204

